

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	E014	行事名	オープンデータシティとやま キックオフ “Start!”	
行事形式	地域ICT講座	主催団体	コード・フォー・トヤマ・シティ	
開催日	7月10日		開催場所	富山県総合情報センター
行事参加者数	40名		WebサイトURL	https://peraichi.com/landing_pages/view/udc2021toyama

行事実施概要・アピール等

「オープンデータシティとやま キックオフ “Start!!」は、オープンデータの活用を進めるための活動として、コード・フォー・トヤマシティが主催するイベントです。また本イベントは、一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会が主催するアーバンデータチャレンジ2021の富山ブロックの地域拠点イベントの一環で行いました。

本イベントは、以下の2部構成で実施しました。

第一部:富山市情報統計課 島崎専門官による講演

第二部:参加者がグループディスカッションを行い、最後に島崎専門官と意見交換を行う。

(本イベントは、新型コロナウイルス感染症対策のため、オフライン・オンライン併用のハイブリッド開催としました。)


【概要】

富山市は独自のLoRaWAN通信網を整備、情報管理の基盤としてFiWareを導入し、スマートシティを進めています(富山市センサーネットワーク)。基盤の構築は完了し、民間企業が実証実験で活用を始めています。一部の業務では、電子申請から庁内業務をデジタル中心で整備をしているとのことで、今後の自治体DX・スマートシティによる市民との連携がますます進むことと思います。

第二部では、講演を聴いた市民がグループに別れ、ディスカッションを行いました。そこで出された様々な意見・質問はその場で富山市の方を交えて議論し、行政のフィードバックが行われ、市民を巻き込んだスマートシティへ向けた第一歩が踏み出せたイベントとなりました。

本イベントの詳細については、以下のWEBサイトに記載しております。

<https://note.com/codefortoyama/n/n4ab6a77c2bf4>



スマートシティ実現に向けて

- IoT技術や内部事務のデジタル化に伴う電子申請の普及による新たなデータ取得方法の導入
- 市保有情報や外部から収集したデータを業務の効率化並びにビッグデータとして活用を推進
- 連携・集約された産学官の様々なデータをオープン化し、相互利用による新サービスの創造
- 継続的な経済発展と今後発生するものも含めた社会課題の解決

